

ハムレット

作:ウィリアム・シェイクスピア

演出:ジョン・ケアード

ハムレットは、 シェイクスピア自身に とても近い

**世界的なミュージカル演出家にして
シェイクスピア劇のエキスパート、ジョン・ケアードが
日本人俳優で『ハムレット』を演出する。
名作に血を通わず成熟の思考を聞いた。**

肩書きで人を判断するのはあまり品の良いことではないが、400年以上も上演され続け、世界中で研究されているシェイクスピア劇の本場イギリス、しかもロイヤル・シェイクスピア・カンパニーの名誉アソシエイト・ディレクターと聞けば、シェイクスピアに関する知識と演出力がどれだけ豊かなものであるかが推し量れる。そんなケアードさんにとっても『ハムレット』は特別な戯曲だと言う。その理由はなんなのだろう。

「シェイクスピアの戯曲には、それぞれひとつ——作品によってはいくつか——のテーマがあります。その中でも『ハムレット』がなぜ特別かと言ったら、シェイクスピア自身の人生についての考えが、深いところで突き詰められているから。生きることの痛みやつらさ、その問いをずっと続けている。だからハムレットという役は、シェイクスピアの頭の中と同様に、複雑で魅力的なんです。シェイクスピア=ハムレットとまでは言えませんが、かなり近いのではないかという気がしますね。他の登場人物も、シェイクスピアの深い思考が注入されていると思います」

ハムレットの複雑さで思い当たるのは、有名な“To be, or not to be, that is the question.”というせりふ。海外戯曲の上演では常に翻訳の問題が回って回る日本でも特に、どう訳されるかが注目されるが。

「あそこは間違いなく“生きるべきか死ぬべきか”にはしないでしょ。あのせりふは単純な生か死かを問うているのではなく、存在について思考していると私は思います。そもそもあれは、イギリス人が聞いたってどういう意味かわかりません(笑)。でも大丈夫、その後で24行使ってハムレットが説明してく



interview

ジョン・ケアード

れますから。つまりあの1行はミステリアスであったほうがいいんです。それがシェイクスピアの意図したことで、より根源的な問いに観客を導きます」

シェイクスピアの意図について、もうひとつ興味深い事実を教えてください。「彼の喜劇は必ず結婚で終わります。それには理由があって、結婚とは子供が生まれること、つまり未来が示唆される。未来が続くのは幸せなんです。かたや、たとえば『リア王』が悲劇なのは、リア王が死ぬからではありません。彼はもう80歳の高齢で、そう長く生きないと最初にわかっています。そうではなく、年若いコーデリアが死ぬから悲劇なんです。新しい世代が生まれません。『ハムレット』も同じです。オフィーリアの死の知らせをガートルードが運んでくるのは、ちょっと考えると不自然ですが、そこには意味がある。息子の妻になるはずだった娘が死んだ、それは孫が生まれなことを意味します。ガートルードの命が続いていかないわけで、それは彼女の死でもあるのです」

こうした深い理解を聞くと、日本での『ハムレット』への期待は加速的に増す。キャストにもぬかりはなく、ほとんど全員に直接会って決めたという。

「キャストを決めるのはレンガで壁をつくる作業に似ています。最初に大きい石を積んで、それにフィットする石を見つけて順番に組み合わせていく。そうすると最後は頑丈な壁になりますよね」

だから盤石と太鼓判を押す今回の座組みで、文字通り最初の礎となったハムレット役には、何年も前から指名していた内野聖陽が当たる。

「彼とは以前に、『ベガーズ・オペラ』という非常に大きなミュージカルで仕事をしましたが、その時も彼は主役でした。哲学的なテーマがあり主人公は孤独を抱えていましたが、内野さんがやるとユーモアが生まれた。最初に『ハムレット』は複雑な話だと言いましたが、実は笑いもかなり埋め込まれている。ハムレットは機知に富んでいるから、どんな状況でも冗談を言うし、ゲームを仕掛けては誰かのバカさ加減や弱みを引き出そうとしますよね。だから『ベガーズ・オペラ』の時から、内野さんとハムレットは同じ資質を持っていると感じて、ずっと彼を望んできました」

ジョン・ケアードの決定版『ハムレット』は、日本で生まれるかもしれない。

文:徳永京子



4月9日(日)~28日(金)プレイハウス

※プレビュー公演 4月7日(金)・8日(土)

作:ウィリアム・シェイクスピア 翻訳:松岡和子

上演台本:ジョン・ケアード/今井麻緒子

演出:ジョン・ケアード 音楽・演奏:藤原道山

出演:内野聖陽/貫地谷しほり/北村有起哉

加藤和樹/山口馬木也/今拓哉

大重わたる・村岡哲至・内堀律子・深尾由真

壤晴彦/村井國夫/浅野ゆづり/國村隼

詳細はP9へ

